

全国の認定農業者数・・・219,374経営体

うち18年4月～12月の新規認定数 24,172

全国の特定農業法人数・・・446法人

うち18年4月～12月の新規認定数 114

全国の特定農業団体数・・・1,067団体

うち18年4月～12月の新規認定数 868

公表した資料はこちらのURLからご覧ください！

<http://www.maff.go.jp/soshiki/koukai/noukei/nintei.htm>

【2】地域の話題等

将来の担い手確保に向けて

～ まんが農業ビジネス列伝（全9巻）を発刊 ～

（中国四国農政局発）

中国四国農政局は、未来の地域農業の担い手である子供たちに「食」と「農」、そして「農村地域」に興味を持ち、農業の可能性を感じてもらうために、郷土の先進的農業の取組をまんが化することを企画しました。

本企画は、「まんが農業ビジネス列伝」（全9巻）として、3月末にJAグループの出版社（社）家の光協会から発行されます。

まんが農業ビジネス列伝 ～食と農の未来を拓く挑戦者たち～

- 1 鳥取ナシ物語 - 黒斑病克服から輸出促進まで - 【鳥取版】 鳥取県に二十世紀ナシが導入されて100年余り。黒斑病の克服により栽培面積を拡大し、輸出の取組も。
- 2 農のはぐくむもの - 木次の牛乳作りを通じて - 【島根版】 日本初の低温殺菌（パステライズ）牛乳の開発。「おいしさ」の背景には、生産者の「こだわり」がある。

- 3 ピオーネ王国への道【岡山県】 このままではギリ貧だ！日本一のピオーネ産地になるまでを描く。
- 4 できたぞ！フルーツの森 - 平田観光農園物語 - 【広島版】 果樹試験場の研究員から農業経営の新たな形（周年型観光農園）をめざし、地域と共に生きることを選択した一人の男と、それを支えた人たちの物語。
- 5 食の安全・安心の実現に挑む - 秋川牧園物語 - 【山口版】 敗戦により中国から引き揚げた男が、裸一貫で上場食品企業を育成。食の安全・安心の実現に挑戦。
- 6 葉っぱがお金に化ける?!【徳島版】 おじいちゃん、おばあちゃんが主役の「つまもの」事業が各方面で大注目！元気な高齢化社会実現の先駆け的の山村。
- 7 ドリーム - さぬきの夢2000開発物語 - 【香川版】 「さぬきうどん」の原料（小麦）を地元・香川産にするべく、夢のプロジェクトが進行。
- 8 からり - 切り開かれる新しい農業の未来 - 【愛媛版】 産直市場「からり」。住民と行政の協同、ITの活用により、今や年商は6億円を超える。
- 9 天然ユズが村を救った - 馬路村農協の軌跡 - 【高知版】 人口わずか1,100人余りの村の農協がユズ加工品で年商30億円超。産直を軌道に乗せた四国の小さな山村のサクセスストーリー。

本企画は、9県の「食」と「農」に関わるニュービジネスの取組を中心に「まんが化」したことから、まずはご自身の地域を読み、地元の取組を身近に感じていただくとともに、是非、他県の取組についても手にとって、農業の持つ可能性を感じていただけたらと思います。

問い合わせ先：中国四国農政局企画調整室(TEL：086-224-4511、内線：2114)

地域の水稻作を担う農業法人が省力化、低コスト化を実現！

～（農）宇土割営農生産組合の取組～

（熊本県宇城市、九州農政局発）

農事組合法人宇土割(うとわり)生産組合が所在する宇城市小川町宇土割地区は、熊本県のほぼ中央に位置する宇城市の南部に広がる水田地帯ですが、農業の担い手の減少や高齢化が進む一方で、経営形態は水稻単一からトマト、メロン等収益性の高い施設園芸を中心とした複合経営に移行する農業者が増加し、農業経営においては水稻の省力化、低コスト化が大きな課題となっていました。更に、以前から各集落にあった籾摺(もみすり)部会がなくなったことから、農業者からは共乾施設の設置や水稻の作業受託組織の設立を望む声が高まっていました。

こうした状況の中で、平成10年4月に、5集落72名の参加を得て、水稲作業受託（田植、稲刈り、乾燥・調整）の任意組合を設立しました。しかし、運営を行う中で、剰余金の発生、専従雇用者の確保や、安定的な組織運営等の課題が明らかとなり、これらの課題に対応するために、関係機関（宇城市、JA、普及指導センター等）の指導を受けながら、組合員の意向調査を行うなど法人化に向けて役員や組合員全員の合意形成等を図り、平成16年12月農事組合法人（2号法人）を設立しました。

法人設立後は、水稲直播栽培、高性能コンバイン等の導入による水稲作業の効率化、作業委託者からのリース等農業機械の有効利用によるコスト削減、企画・労務・販売・会計等について担当制を導入し、組織体制の強化を図るとともに、集落内外からの農地集積（利用権設定）の受け皿として規模拡大を行っています。

また、法人の新たな取組として、集落毎に食味評価区分を取り入れるなど米の品質向上策を講じるとともに、水稲の裏作として、フルーツ玉ねぎやカボチャの一種であるブッチーニ、坊ちゃんかぼちゃの栽培をするなど、年間を通じた経営の安定に取り組んでいます。

現在、同法人の経営規模は、水稲の作業受託（田植21ha、稲刈り50ha、乾燥調整80ha）、農地借入5haで、品目横断的経営安定対策の収入減少影響緩和対策への加入を予定しています。

地域に密着し、時間をかけて組合員の信頼を得ながら行っている同法人の取組は、他地域のモデルケースのひとつとして大いに期待されているところです。

問い合わせ先：九州農政局生産経営流通部経営課（TEL:096-353-3561）

< 編集後記 >

今年は暖冬で、私の好きな鍋料理も振るわず、一部のスーパーでは売り場を縮小する動きがあることを聞きました。しかし、我が家の毎週土曜日の食卓は鍋が定番！今週末の献立は、かき（牡蠣）にしようかなあ？

かきは「海のミルク」と呼ばれるほど栄養豊富で、鉄・ビタミンBをはじめ良質のタンパク質・ミネラルをバランスよく含み、貧血予防・疲労回復・コレステロール値を下げ、高・低血圧の両方や動脈硬化等に効果があるそうです。

12月一杯は岩手・宮城等の三陸ものが、1月以降は広島・岡山が加わり、10月から3月にかけて入荷最盛期となるため、「鍋」の季節とぴったり合います。

旬のものを旬に味わう、日本人の楽しみの一つですね！

本メルマガでは、皆様に活用されるメルマガを目指し、担い手育成活動の優良事

例等を紹介していきます。皆様の地域での事例、ご意見、メルマガの感想等下記アドレスまでお寄せください。

電子出版：担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン

発行日：随時発行（週1回程度）

発行元：農林水産省 経営局 経営政策課

お問い合わせ先の電子メールアドレス： keiei_seisaku@nm.maff.go.jp

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから。

<http://www.maff.go.jp/ninaite/mailmagazine.html>

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～品目横断的経営安定対策を含む担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

<http://www.maff.go.jp/ninaite/>